

社会復帰促進等事業一覧

(単位:千円)

3年度 PDCA 評価 番号	2年度 PDCA 評価 番号	事業名	事業概要	令和2年度 予算額 (①)	令和3年度 予算額 (②)	うち 行政経費	うち 事業費	対前年度差引 額 ②-①	主たる増減 要因	対前年度比 ②/①	令和2年度 決算額	令和2年度 予算執行率	令和2年度 評価	備考
社会復帰促進事業				24,329,361	22,873,610	2,155,807	20,717,803	▲ 1,455,751		94.02%				
1	1	外科後処置等経費	外科後処置により障害(補償)給付の原因である障害によって喪失した労働能力を回復し、又は醜状を軽減し得る見込みのある者等に対し、実施医療機関において手術その他の医療等の給付を行うもの。 また、外科後処置のため通院に要する費用を支給するもの。	54,617	46,079	0	46,079	▲ 8,538	実績反映減	84.37%	39,796	72.86%	A	
2	2	義肢等補装具支給経費	義肢等補装具業者との契約により義肢等補装具を注文、製作等した場合において、その費用を被災労働者本人又は委任された義肢等補装具業者に対し支給。また、義肢等補装具の採型等に要する旅費を支給。	3,525,692	3,144,697	0	3,144,697	▲ 380,995	実績反映減	89.19%	3,318,998	94.14%	A	
3	3	特殊疾病アフターケア実施費	症状固定後も後遺症状に動揺をきたしたり、後遺障害に付随する疾病を発症させるおそれのあるせき髄損傷、精神障害等の20傷病を対象として、医療機関での診察、保健指導、薬剤の支給及び検査等の必要な措置を行う。 また、アフターケアのための通院に要する費用を支給する。	3,787,294	3,636,894	0	3,636,894	▲ 150,400	実績反映減	96.03%	3,327,518	87.86%	A	
4	4	社会復帰特別対策援護経費	振動障害者等支給対象者に対し、就職準備金その他移転等に要する費用や、職場転換等を行った当該労働者の賃金助成、訓練、講習の費用等を支給する。	341,182	321,935	0	321,935	▲ 19,247	実績反映減	94.36%	271,655	79.62%	A	
-	-	障害者職業能力開発校施設整備費	業務上負傷し、身体障害となった者の早期社会復帰を図るため、これらの者に対して職業に必要な技能・知識を習得させ、又は向上させるために、障害者職業能力開発校の訓練科及び施設の整備を行う。	995,732	834,522	834,522	0	▲ 161,210	見直し減	83.81%	-	-	-	評価対象外
5	5	CO中毒患者に係る特別対策事業経費	「炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に関する特別措置法」第11条に基づき、CO中毒患者の特性を十分に考慮した診療体制等の整備を行う。	498,674	499,072	0	499,072	398	実績反映増	100.08%	498,564	100.0%	A	
6	6	独立行政法人労働者健康安全機構運営費・施設整備費	療養施設及び労働者の健康に関する業務を行う者に対して研修、情報の提供、相談その他の援助を行うための施設の設置及び運営等を行うことにより労働者の業務上の負傷又は疾病に関する療養の向上及び労働者の健康の保持増進に関する措置の適切かつ有効な実施を図るとともに、事業場における災害の予防に係る事項並びに労働者の健康の保持増進に係る事項及び職業性疾病の病因、診断、予防その他の職業性疾病に係る事項に関して臨床で得られた知見を活用しつつ、総合的な調査及び研究並びにその成果の普及を行うことにより、職場における労働者の安全及び健康の確保を図る。 また、療養施設等の整備等を行う。	14,011,860	13,340,649	1,317,664	12,022,985	▲ 671,211	見直し減	95.21%	12,954,929	92.46%	C	コロナによる
7	7	労災疾病臨床研究事業費補助金事業	認定基準が確立されていない疾病や鑑別・判断が困難な疾病に係る診断方法及び診断技術に係る臨床研究、放射線業務従事者の健康影響に係る疫学研究、過労死防止対策推進法に基づく調査研究などについて、広く研究者を募り、当該研究事業を補助することにより、新しい知見を見だし、診断等における技術水準の向上を図る。	1,114,310	1,049,762	3,621	1,046,141	▲ 64,548	実績反映減	94.21%	1,074,370	96.4%	B	

社 会 復 帰 促 進 等 事 業 一 覧

(単位:千円)

3年度 PDCA 評価 番号	2年度 PDCA 評価 番号	事業名	事業概要	令和2年度 予算額 (①)	令和3年度 予算額 (②)	うち 行政経費	うち 事業費	対前年度差引 額 ②-①	主たる増減 要因	対前年度比 ②/①	令和2年度 決算額	令和2年度 予算執行率	令和2年度 評価	備 考
被災労働者等援護事業				8,499,945	7,919,979	476,889	7,443,090	▲ 579,966		93.18%				
8	8	炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に関する特別措置法に基づく介護料支給費	炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に関し、一酸化炭素中毒症にかかった労働者に対して特別な援護措置として介護料の支給を行う。	7,619	6,397	0	6,397	▲ 1,222	実績反映減	83.96%	5,243	68.8%	A	
9	9	労災就学等援護経費	労災年金受給者等に対し、その子供等に係る学資等の支弁が困難であると認められるもの及び就労のために子供の保育の必要が認められるものについて、学資等の一部を支給する労災就学援護費と、保育に係る費用の一部を援護する。	2,655,536	2,531,604	0	2,531,604	▲ 123,932	実績反映減	95.33%	2,322,397	87.5%	A	
		労災就労保育援護経費	労災年金受給者に対し当該家族の就労のため、未就学児を幼稚園、保育所等に預ける必要がある場合にその保育に要する経費の支給を行う。			0	0	0		-				労災就学等援護経費へ統合
		労災就学援護経費	労災年金受給者及びその子弟で学校教育法第1条に規定する学校等に在学する場合であって学費の支弁が困難と認められる者に対して労災就学援護費の支給を行う。			0	0	0		-				労災就学等援護経費へ統合
10	10	労災ケアサポート事業経費	在宅で介護、看護が必要な労災重度被災労働者等に対して、労災疾病に関する専門的な知識を有する看護師等による訪問支援等を実施する。	490,883	461,450	0	461,450	▲ 29,433	実績反映減	94.00%	460,215	93.8%	B	コロナによる
11	11	休業補償特別援護経費	労働基準法第76条に基づき使用者が行う休業3日目までの休業補償について、事業場の廃止等、やむをえない事由で受けることができない被災者に対し、休業補償3日分相当額を支給する。	1,423	1,236	0	1,236	▲ 187	実績反映減	86.86%	1,294	90.9%	A	
12	12	長期家族介護者に対する援護経費	要介護状態にある重度被災労働者が業務外の事由により死亡した場合に長期にわたり介護に当たってきた遺族に対して、遺族の生活の激変を緩和し自立した生活への援助を行う観点から生活転換援護金(一時金100万円)を支給する。	46,000	38,000	0	38,000	▲ 8,000	実績反映減	82.61%	36,000	78.3%	A	
13	13	労災特別介護施設運営費・設置経費	在宅で介護を受けることが困難な労災重度被災労働者に対して、その傷病・障害の特性に応じた専門的施設介護サービスを提供する労災特別介護施設の運営を行う。 また、当該施設の整備・修繕を行う。	2,300,379	2,185,739	476,889	1,708,850	▲ 114,640	見直し減	95.02%	1,722,884	98.8%	B	
		労災特別介護施設設置費	在宅で介護を受けることが困難な労災重度被災労働者に対して、その傷病・障害の特性に応じた専門的施設介護サービスを提供するための労災特別介護施設の整備・修繕を行う。			0	0	0		-				労災特別介護施設運営費・設置経費へ統合
		労災特別介護援護経費	在宅で介護を受けることが困難な労災重度被災労働者に対して、その傷病・障害の特性に応じた専門的施設介護サービスを提供する労災特別介護施設の運営を行う。			0	0	0		-				労災特別介護施設運営費・設置経費へ統合
14	14	労災診療被災労働者援護事業補助事業費	労災指定医療機関において被災労働者への診療(国による被災労働者に対する現物給付)に要した費用が国から労災指定医療機関に支払われるまでの間の当該費用に相当する額について、(公財)労災保険情報センターが行っている当該医療機関への無利子貸付事業に対して補助を行う。	2,993,718	2,695,553	0	2,695,553	▲ 298,165	実績反映減	90.04%	2,993,718	100.00%	A	
-	15	労災援護金等経費	労災保険制度に打切補償制度が存在した時期に打切補償費の支給を受けたために、労働者災害補償保険法の規定による保険給付を受けることができない被災労働者の援護を図るため、療養に要した費用、入院・通院費用、介護費用を支給する。	4,387	0	0	0	▲ 4,387	事業廃止	0.00%	-	-	-	前年度限りの経費

社 会 復 帰 促 進 等 事 業 一 覧

(単位:千円)

3年度 PDCA 評価 番号	2年度 PDCA 評価 番号	事業名	事業概要	令和2年度 予算額 (①)	令和3年度 予算額 (②)	うち 行政経費	うち 事業費	対前年度差引 額 ②-①	主たる増減 要因	対前年度比 ②/①	令和2年度 決算額	令和2年度 予算執行率	令和2年度 評価	備 考
安全衛生確保等事業				59,484,965	67,257,029	9,635,442	57,621,587	7,772,064		113.07%				
15	16	過労死等防止対策推進経費	「過労死等防止対策推進法」及び同法に基づき策定された「過労死等の防止のための対策に関する大綱」を踏まえ ①過労死等を防止することの重要性について国民の関心と理解を深めるための周知・啓発 ②国民の過労死等防止対策の重要性に対する関心と理解を深めるための「過労死等防止対策推進シンポジウム」 ③過労死として認定された労働者の遺児等を対象とした交流会を実施する。	278,697	197,042	386	196,656	▲ 81,655	見直し減	70.70%	232,997	83.60%		コロナによる ※被災労働者等援護事業に関する事業も一部含む。
16	17	安全衛生啓発指導等経費	・事業者及び労働者の安全衛生意識の普及高揚を図るための表彰等の実施や災害防止活動を効果的に促進させるため指導等を行う。また、安全衛生教育に関する知識を体系的に付与するカリキュラム等を策定し、教材を作成し、さらに、当該教材の公開、教材を使用した講習等を通じ、設計・施工管理を行う技術者等に対する安全衛生教育の支援を行う。 ・「職場のあんぜんサイト」を運営し、事業場が自主的に安全衛生対策に取り組めるよう災害統計や過去の災害やヒヤリハット事例、安全衛生視聴覚教材等を提供等を行う。また、労働安全衛生法に基づく各種届出について、記載に不備等があるとエラーを表示する形式審査機能を持つ帳票の公開等を行う。 ・「労働安全衛生法及びこれに基づく命令に係る登録及び指定に関する省令」第24条ただし書に規定する指定機関として、登録講習機関の自主的な情報提供等に基づき登録講習機関から技能講習修了者の帳簿を引き受け、これを管理し、労働安全衛生規則第82条第3項及び第4項の規定に基づき、申請者に対し、技能講習を修了したことを証する書面の交付等を行う。また、労働安全衛生法に基づく免許証の申請から発行までの期間を短縮するために、申請書類のチェックや不備書類の返送及び督促等を外部委託する。	1,354,747	1,013,438	581,071	432,367	▲ 341,309	見直し減	74.81%	207,614	96.5%	A	
-	18	安全衛生に関する優良企業を評価・公表する制度等の推進	企業等からの申請に基づき、安全衛生水準の高い企業等を客観的な指標で評価・認定し、公表すること等により、企業の安全衛生へのより積極的な取組を促進するとともに、安心して就職し、働ける良好な労働環境が確保されている企業等の情報を求職者等に共有する。令和元年度は若者等求職者向けの周知(セミナー開催等)を実施【令和元年度限り】。	20,327	0	0	0	▲ 20,327	事業廃止	0.00%	-	-	-	前年度限りの経費
-	19	設計・施工管理を行う技術者等に対する安全衛生教育の支援事業	学識経験者、企業の実務担当者等の専門家により安全衛生教育に関する知識を体系的に付与するカリキュラム及び到達目標等を策定し、教材を作成する。また、当該教材の公開、教材を使用した講習等を通じ、設計・施工管理を行う技術者等に対する安全衛生教育の支援を行う。	16,983	0	0	0	▲ 16,983	見直し減	0.00%	17,919	105.51%	-	安全衛生啓発指導等経費へ統合
-	20	安全衛生分野における国際化への的確な対応のための経費	国際会議等への参加や技術交流を通じて、労働安全衛生分野における的確な国際化への対応を図る。	8,108	0	0	0	▲ 8,108	事業廃止	0.00%	-	-	-	前年度限りの経費
17	21	職業病予防対策の推進	・東電福島第一原発緊急作業従事者の被ばく管理徹底のため、東電福島第一原発の作業届について、被ばく防護措置が適切であるか確認や適切な指導等を実施するとともに、緊急作業従事者の作業内容、被ばく線量等に関するデータベースの運用を行う。また、一定の被ばく線量を超えた離職者等に対する健康診断等を実施する。 ・眼の水晶体の被ばく限度の引き下げた改正電離放射線障害防止規則が令和3年4月1日から施行されることをふまえ、眼の水晶体への被ばく線量が高い業務を行う事業者に対し、事業場として労働者の被ばく線量を組織的に管理する仕組みである、放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシステムの導入を支援する。 ・改正される事務所労働基準規則等の周知や事務所環境改善に係るマニュアル等の作成、説明会の開催、個別相談対応を行う。 ・職場の熱中症予防に特化したポータルサイトを運営し、WBGT値(暑さ指数)の正確な把握と実測値に応じた対応方法や主要産業別の対策の好事例を周知啓発する等、職場環境に起因する職業病予防対策を推進する。	588,131	539,268	355,791	183,477	▲ 48,863	見直し減	91.69%	512,476	87.1%	B	一部コロナによる

社会復帰促進等事業一覧

(単位:千円)

3年度 PDCA 評価 番号	2年度 PDCA 評価 番号	事業名	事業概要	令和2年度 予算額 (①)	令和3年度 予算額 (②)	対前年度差引		対前年度比 ②/①	令和2年度 決算額	令和2年度 予算執行率	令和2年度 評価	備考		
						うち 行政経費	うち 事業費							
18	22	じん肺等対策事業	<p>・「第9次粉じん障害防止総合対策」に基づき、呼吸用保護具の使用の徹底及び適正な使用の推進並びにじん肺健康診断の着実な実施を図るため講習会の実施等を行うとともに、石綿業務等有害な業務に従事し離職した労働者等に対して健康管理手帳を交付し、特殊健康診断等を実施する。また、労働局にて支給事務を行う健康管理手帳制度については、情報システム化されておらず、移管漏れ等が課題となっており、詳細な業務実態を把握分析の上、情報システム化に向けて要件定義工程を実施する。</p> <p>・石綿含有建築物の解体作業に従事する労働者の石綿による健康被害を生じさせないよう、改正石綿障害予防規則に基づく事前調査者講習制度の質の維持・向上のため、テキスト等の整備や元請の工事監理者等に対する講習会開催等を行う。</p> <p>・金属アーク溶接等の作業で発生する溶接ヒュームは、発がん性が認められ神経障害を発生させるため、改正特定化学物質障害予防規則の経過措置中におけるばく露防止措置を支援する。また、ばく露測定に要する費用の一部を補助する。</p>	2,664,809	2,894,454	1,319,896	1,574,558	229,645	新規拡充	108.62%	1,824,000	77.6%	A	
19	23	職場における受動喫煙対策事業	<p>職場における受動喫煙防止対策の推進を図るため、事業場からの喫煙室の設置等に関する問い合わせに対応するための電話相談及び実地指導等を実施するとともに、喫煙室を設置する事業場に対して設置費用の一部の助成を行う。</p>	1,066,551	438,400	133,405	304,995	▲ 628,151	見直し減	41.10%	613,136	57.5%	B	一部コロナによる
20	24	職場における化学物質管理促進のための総合対策	<p>職場で利用されている化学物質について、発がん性に重点を置いたリスク評価を実施するとともに、事業場における自律的な化学物質管理の推進のため、化学物質管理に関する相談窓口の設置や訪問指導の実施、GHS分類やモデル表示・モデルSDSの作成等により、職場での化学物質管理の支援体制の整備を図る。</p>	813,322	613,365	216,302	397,063	▲ 199,957	見直し減	75.41%	531,440	93.1%	A	
21	25	産業保健活動総合支援事業	<p>労働者の健康確保のため、メンタルヘルス対策や治療と職業生活の両立支援について、医師や産業保健スタッフ等への研修の実施、小規模事業場の事業者及び労働者に対する相談等の実施、また、副業・兼業を行う労働者の健康確保に向けた取組(一般健康診断やストレスチェックなど)に要した費用を助成、さらに、改正された「事業場における労働者の健康保持増進のための指針」(THP指針)に基づき、THPの普及・促進セミナーの実施や普及・促進に係る助成等を行うなど、事業場の産業保健活動を支援する。</p>	4,980,841	4,865,824	8,426	4,857,398	▲ 115,017	見直し減	97.69%	4,964,754	99.7%	A	
22	26	働き方改革の実現に向けた労働時間の上限規制の定着による長時間労働の抑制等のための取組	<p>時間外労働及び休日労働に関する協定(36協定)について、時間外及び休日労働協定点検指導員による窓口指導等を行うとともに、届出された36協定について、委託業者にて入力・集計を行う。(①)。また、長時間労働抑制及び過重労働防止のためのパンフレット等を作成する(②)。36協定未届事業場に対し自主点検を実施するとともに、労働者を雇用する上で必要な労働時間、休日、賃金等の基本的な労務管理の知識や安全衛生管理の知識の習得が必要と考えられる事業場に対し、専門家によるセミナー及び個別訪問を行う。また、具体的事例を交えて、過重労働による労働者の健康障害防止に特化したセミナーを開催する(③)。その他、労働条件に関する相談ができる「労働条件相談ほっとライン」の設置(④)、労働条件ポータルサイトの運営(⑤)、大学や高校等での法令等の周知啓発の実施(⑥)、労働法教育に関する指導者用資料の作成・配布(⑦)、問題事業場の把握につなげるインターネット監視(⑧)による労働条件に係る情報収集事業を行う。</p>	3,400,912	3,060,160	1,242,980	1,817,180	▲ 340,752	見直し減	89.98%	3,206,305	94.3%	A	
23	27	メンタルヘルス対策等事業	<p>メンタルヘルス対策を推進するため、メンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」による情報提供等を実施する。</p>	153,447	253,438	666	252,772	99,991	新規拡充	165.16%	153,830	100.00%	A	
24	28	治療と職業生活の両立支援事業	<p>治療と職業生活の両立支援に係るポータルサイトの運営、シンポジウムの開催、取組事例の収集・公表等を行い、広く関係者に周知するとともに、作成したガイドラインのコンテンツを拡充(労働者の申出から両立支援プラン策定までの個別支援に資するツール等の作成)することにより、疾病を抱えた労働者が就労を継続するための支援を推進する。</p>	131,321	120,309	4,954	115,355	▲ 11,012	見直し減	91.61%	120,835	92.0%	A	

社会復帰促進等事業一覧

(単位:千円)

3年度 PDCA 評価 番号	2年度 PDCA 評価 番号	事業名	事業概要	令和2年度 予算額 (①)	令和3年度 予算額 (②)	うち 行政経費	うち 事業費	対前年度差引 額 ②-①	主たる増減 要因	対前年度比 ②/①	令和2年度 決算額	令和2年度 予算執行率	令和2年度 評価	備考
25	29	職場におけるハラスメントへの総合的な対応等労働者健康管理啓発等経費	(1)職場のハラスメントの予防・解決に向けた社会的気運の醸成及び労使の取組支援を行う。 (2)ハラスメントの被害を受けた労働者の精神障害の悪化や再発を防止し、労働者の衛生の確保を図る。 (3)事業主が、パートタイム労働者・有期雇用労働者に対する健康診断等について認識を深め、パートタイム労働者・有期雇用労働者の健康管理等に取り組むために、啓発指導を行う。	428,518	305,179	91,376	213,803	▲ 123,339	見直し減	71.22%	225,129	67.1%	B	
26	30	建設業等における労働災害防止対策費	・東日本大震災及び熊本地震に係る復旧・復興工事に係る安全衛生対策の拠点を岩手県、宮城県、福島県、熊本県に設置し、安全専門家による巡回指導等の復旧・復興工事における安全衛生確保を支援するとともに、今後も発生する自然災害からの復旧・復興工事における安全衛生対策を検討する。 ・足場からの墜落防止措置に係る「より安全な措置」について、専門家による現場の調査・診断や研修会等を実施する。 ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、首都圏で増加する建設工事における労働災害を防止するため、安全専門家による巡回指導、新規入職者や管理者等に対する安全衛生教育等を実施する。 ・建設現場において労働者と同様な作業に従事する一人親方等の安全衛生確保のため、一人親方等の業務の特性や作業の実態を踏まえた安全衛生教育の実施や建設現場における技術指導等を通し、一人親方等に対して安全衛生に関する知識習得等を支援する。	466,788	395,837	15,660	380,177	▲ 70,951	見直し減	84.80%	305,639	67.5%	A	
27	31	第三次産業労働災害防止対策支援等事業(就労構造の変化及び働き方の多様化に対応した対策の推進)	・腰痛対策指針の周知啓発を行うとともに、社会福祉施設等を対象とした腰痛対策のための講習会を実施する。 ・第三次産業における労働災害防止対策を進めるため、安全推進者を養成するための講習会及び労働安全衛生マネジメントシステムに係る説明会を開催する。 ・外国人労働者向けの安全衛生教育を推進するため、危険有害業務別に視聴覚教材を追加作成し、また、VR技術を活用した非言語安全衛生教育教材の作成等を行う。 ・高齢労働者の安全衛生対策として、「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」周知のセミナー等を実施するとともに、高齢者の労働災害防止等のため、中小企業等が実施する安全衛生確保対策を募集し、高い効果が見込まれる取組を選定し、その経費の一部を補助する。	1,795,999	1,527,033	10,315	1,516,718	▲ 268,966	見直し減	85.02%	1,684,604	94.1%	A	
28	32	林業従事労働者等における安全衛生対策の推進事業	林業における労働災害の多くを占める伐木等作業について、安全対策に係る作業方法を整理し、マニュアルを作成し、同マニュアルを用いて事業場の安全担当者を対象とする講習会を実施する。 林業における振動障害防止対策の充実を図るため、チェーンソー取扱作業指導員を設置し、林業の作業現場等を巡回し、直接、作業仕組改善事例、振動障害防止に係るガイドブック等を用いチェーンソー取扱作業指針の周知徹底、振動障害の防止に係る知識の普及、林業振動障害防止対策会議の構成員としての職務等を行う。	25,214	23,809	5,773	18,036	▲ 1,405	見直し減	94.43%	15,413	79.3%	A	
29	33	機械等の災害防止対策費	・スマート保安の推進のため、ボイラー等を対象とする性能検査への①CBM(状態に基づく管理)及び自主検査の導入、②遠隔検査の導入について、導入のための条件や導入時の検査等の在り方について検討する。 ・輸入機械等を中心として市場に流通している型式検定対象機械等(防爆構造電気機械器具)に買取試験を実施する。 ・最新の基準への適用が猶予されている既存の不適合機械等の更新を支援するため、必要となる経費の一部を補助する(間接補助金)等により機械等の災害防止対策を推進する。 ・AI、GPS等の技術開発により、自律的に作業を行う機械の導入が産業界において進むと見込まれることから、これら技術革新を活用した機械等の開発状況等に関する実態調査と安全対策の検討を行う。	818,752	1,017,309	518,896	498,413	198,557	新規拡充	124.25%	738,222	92.4%	A	安全衛生啓発指導等経費から計画届審査員設置経費を組替

社会復帰促進等事業一覧

(単位:千円)

3年度 PDCA 評価 番号	2年度 PDCA 評価 番号	事業名	事業概要	令和2年度 予算額 (①)	令和3年度 予算額 (②)	うち 行政経費	うち 事業費	対前年度差引 額 ②-①	主たる増減 要因	対前年度比 ②/①	令和2年度 決算額	令和2年度 予算執行率	令和2年度 評価	備考
-	34	特定分野の労働者の労働災害防止活動促進費	労働局及び労働基準監督署に、外国人労働者労働条件相談員等の職員を配置し、外国人労働者等、特定分野の労働者や当該労働者を使用する事業場からの相談への対応や指導を行う。また特定分野における労働者の労働条件の確保・改善のため、パンフレット等を用いて法令や制度の周知啓発等を行う。	444,875	496,484	496,484	0	51,609	新規拡充	111.60%	305,684	54.7%	A	
30	35	自動車運転者の労働時間等の改善のための環境整備等	自動車運転者の労働時間改善のため、周知用コンテンツやガイドライン等をまとめたポータルサイトの継続運用、トラック運送業の労働時間等に係る問題解決につながる共創のプロセスも含んだ意見交換会の実施及び自動車運転者の労働時間等の実態把握を行う。 新規許可事業者を対象として国土交通省が行う講習会において、労働基準法等の労務管理の基礎を教示し、指導を行う。 地方運輸支局等との間で都道府県単位の連絡会議を設置し、自動車運転者の労働条件改善等に係る情報・意見交換を行う。	153,997	160,739	7,102	153,637	6,742	新規拡充	104.38%	118,483	77.40%	A	
31	36	家内労働安全衛生管理費	家内労働者の災害防止及び職業性疾病の予防を図るため、家内労働者の安全衛生管理体制の確立を図る。	30,026	26,965	12,092	14,873	▲ 3,061	見直し減	89.81%	16,368	98.6%	B	コロナによる
32	37	女性就業支援・母性健康管理等対策費	①女性労働者の職場進出が進み、妊娠中または出産後も働き続ける女性が増加していることから、女性労働者の特性に見合った健康管理対策、特に母性健康管理を推進する。 ②全国の女性関連施設等における女性就業支援事業が効果的、効率的に実施され、女性の就業促進と健康保持増進のための支援施策の全国的な充実が図られるよう、相談対応や講師派遣等、女性関連施設等を支援する事業を実施する。 ③雇用環境・均等部(室)及び総合労働相談コーナーの職員(非常勤職員を含む)が業務に使用するパソコンやプリンタの賃貸借料及び、グループウェアやメール等を利用するための利用料を負担する。	655,783	965,222	562,238	402,984	309,439	新規拡充	147.19%	58,637	80.2%	D	一部コロナによる
33	38	多言語相談支援事業	雇用環境・均等部及び総合労働相談コーナーにおいて、14ヶ国語の電話通訳に対応した「多言語コンタクトセンター」の活用等により、職場におけるハラスメントや解雇等のトラブルに関する相談対応、紛争解決援助等の多言語化を図る。	12,898	6,750	5,562	1,188	▲ 6,148	実績反映減	52.33%	1,188	16.2%	C	
34	39	外国人技能実習機構に対する交付金	技能実習法に基づき外国人技能実習機構が監理団体・実習実施者に対して実地検査(安全衛生に関するもの)等を実施するための経費	1,306,522	1,302,412	0	1,302,412	▲ 4,110	見直し減	99.69%	1,306,522	100.0%	D	コロナによる
-	-	労働基準行政関係相談業務に係るコールセンターの設置運営事業	コールセンターを設置し、電話相談件数や適用事業場数が多いなど業務繁忙になっている労働基準監督署に入電した電話について、コールセンターで一元的に対応する。	551,774	551,774	0	551,774	0	前同	100.00%	-	-	-	評価対象外
-	40	労働安全衛生融資資金利子補給費等経費	資金的な問題で労働災害の防止措置を十分に果たせない中小企業に職場改善機器等の導入資金として、長期かつ低利で融資を行っていた事業(平成13年度以降、新規の融資は廃止)であり、残存する債権の管理・回収業務、借入の償還業務を行う。	100,578	0	0	0	▲ 100,578	事業廃止	0.00%	100,578	100.0%	A	前年度限りの経費
35	41	労働災害防止対策費補助金経費	労働環境の急激な変化により多発し、重大化傾向もある労働災害を防止するためには、事業主による自主的な労働災害防止活動が不可欠である。法律に基づき設立された各種労働災害防止協会が実施する事業主等の労働災害防止活動の促進等の事業について補助を行う。	1,932,042	1,805,372	0	1,805,372	▲ 126,670	実績反映減	93.44%	1,932,042	100.0%	B	コロナによる

社 会 復 帰 促 進 等 事 業 一 覧

(単位:千円)

3年度 PDCA 評価 番号	2年度 PDCA 評価 番号	事業名	事業概要	令和2年度 予算額 (①)	令和3年度 予算額 (②)	うち		対前年度差引 額 ②-①	主たる増減 要因	対前年度比 ②/①	令和2年度 決算額	令和2年度 予算執行率	令和2年度 評価	備 考
						行政経費	事業費							
36	42	産業医学振興経費	過重労働による過労死・過労自殺が深刻化しており、法令に基づき事業場において労働者の健康確保を担う「企業のホームドクター」である産業医の活動が強く求められている。そのため、メンタルヘルス等高度な専門性を持った産業医の育成が急務であり、産業医の養成、産業医学の水準向上に専門に取り組んでいる産業医科大学への助成や、産業医の資質向上研修に対して助成する。	6,296,456	6,751,305	0	6,751,305	454,849	実績反映増	107.22%	5,765,267	91.5%	A	
-	43	就労条件総合調査費	主要産業における企業の労働時間制度、賃金制度等について総合的に調査し、我が国の民間企業における就労条件の現状を明らかにする。	28,150	21,235	21,235	0	▲ 6,915	実績反映減	75.44%	21,008	-(行政経費のため)	-	評価対象外
37	44	未払賃金立替払事務実施費	企業倒産により退職を余儀なくされた労働者に未払賃金の一部を政府が立替払する未払賃金立替払事業に必要な原資の補助及び行政経費である。	10,630,055	22,188,497	1,287,874	20,900,623	11,558,442	実績反映増	208.73%	6,855,062	64.5%	A	
38	45	過重労働の解消及び仕事と生活の調和の実現に向けた働き方・休み方の見直し	「働き方改革」に取り組む中小企業事業主等への支援事業を実施するとともに、労働時間等設定改善法に基づき、企業等に対する支援事業を実施し、労使の自主的取組を促進することにより、長時間労働の抑制、年次有給休暇の取得促進等、労働時間等の設定の改善に向けた取組を推進する。	13,173,322	11,087,618	1,030,645	10,056,973	▲ 2,085,704	見直し減	84.17%	11,452,710	86.90%	B	
39	46	テレワーク普及促進等対策	テレワークが長時間労働を招かないよう、適正な労務管理下での良質なテレワークの普及・促進に取り組む。	207,969	116,917	3,998	112,919	▲ 91,052	見直し減	56.22%	5,082,961	128.70%	A	
40	47	医療従事者の確保・定着に向けた勤務環境改善のための取組	厳しい勤務環境に置かれている医療従事者全体の勤務環境の改善に向けた取組を推進する。	672,650	755,053	23,853	731,200	82,403	新規拡充	112.25%	479,294	71.3%	A	
41	48	中小企業退職金共済事業経費	中小企業における退職金制度確立に向けて中小企業退職金共済制度への新規加入を促進するため、独立行政法人勤労者退職金共済機構に対して、事業主に対する掛金負担軽減措置に要する費用の補助を行うとともに、中小企業退職金共済事業に必要な経費の補助を行う。	2,094,129	1,641,698	0	1,641,698	▲ 452,431	見直し減	78.40%	2,092,375	99.9%	B	コロナによる
42	49	独立行政法人労働政策研究・研修機構運営費・施設整備費	独立行政法人労働政策研究・研修機構において、労働に関する事務に従事する者に対する研修を行うために必要な経費である。 また、独立行政法人労働政策研究・研修機構が施行する施設整備のための経費である。	133,727	199,331	93,093	106,238	65,604	新規拡充	149.06%	114,425	85.60%	B	コロナによる
43	50	個別労働紛争対策費	個別労働関係紛争の解決・促進を図るため、以下の事業を実施する。 ①総合労働相談窓口の運営 ②個別労働関係紛争の自主的解決の援助 ③都道府県労働局長による紛争解決の援助 ④いじめ・嫌がらせ等困難事案に係る相談体制の充実	1,658,583	1,605,033	1,580,613	24,420	▲ 53,550	見直し減	96.77%	1473062	88.80%	B	
44	51	雇用労働相談センター設置・運営経費	国家戦略特別区域において、新規開業直後の企業及びグローバル企業等が我が国の雇用ルールを的確に理解し、予見可能性を高めることにより、紛争を生じることなく事業展開することが容易となるよう、雇用労働相談センターを設置し、事業主に対する情報の提供、相談、助言その他の援助を行う。	387,962	309,759	4,756	305,003	▲ 78,203	見直し減	79.84%	310680	80.90%	B	コロナによる
合 計				92,314,271	98,050,618	12,268,138	85,782,480	5,736,347		106.21%				